

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0
2021年11月

事業名:	コロナ禍での自己実現に向けての関係性構築
資金分配団体:	公益社団法人 ユニバーサル志縁センター
実行団体名:	特定非営利活動法人 日向ぼっこ
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	全国
事業対象者:	コロナ禍で失業やアルバイト削減により経済的に困窮したり、相談できる場所へのアクセスが難しくなりストレスや不安から心身の負担が大きくなっている方

I. 事業概要

事業概要
<p>コロナ禍で失業やアルバイト削減により経済的に困窮したり、相談できる場所へのアクセスが難しくなりストレスや不安から心身の負担が大きくなっている方と継続的な関係性を築き、彼らが自己決定をし、自己実現に前向きに取り組むことができるようサポートする。</p> <p>困難を抱えている方との精神的つながりを構築するきっかけとして食料品や衛生用品を送付する。その際、コメントや情報を書いたカードを同封する。人と会う機会が減少する中で物質的サポートやささいなかかわりでも継続的に行うことで、精神的なつながりを構築し、困難な状況にある方と一緒に抱えている困難を考えることで、その方の心身の負担の軽減し、自己決定、自己実現を促す。</p>

II. 進捗報告の概要

総括
<p>助成金申請後に事情が変わったことによる、資金計画の一部変更・修正などの必要もあるが、全体として、おおむね想定どおりの活動ができている。</p>

III. 活動実績

アウトプット(今回の事業実施で達成される状態)	進捗状況
困窮状態にある方が、経済的負担が軽減され、同時に定期的なかかわりを持つことにより、精神的状況が改善・安定し、一人で問題を抱えることがなく、相談できるようになり、生活が少しでも安定する。	<ol style="list-style-type: none">食品配送数・伴走支援をする対象者数【目標：月40人】 実績値（9月までの数字）：178人問題が起きてもひとりで抱え込まず、必要な機関等に自ら相談できる精神状態になるよう伴走支援をする対象者数 実績値（9月までの数字）：178人

	<p>3. メール、電話、来館による相談数【目標：月のべ 15 人、計のべ 120 人】実績値（9 月までの数字）：67 人</p> <p>4. 食品配送数【目標：月 40 人】 173 人</p> <p>・新型コロナの感染拡大の影響で学校がすべてリモートとなり、人間関係に支障をきたし、適応障害となり体調を崩した方が「固形物が食べられないので、できればゼリーを送ってほしいと」「お時間ある時にお電話したいのでできる時によければかけてください」「今度時間ができたら遊びに行きます」といったメッセージいただいたり、送付した荷物が保管切れとなって連絡した際に世間話などをする中で、困難な状況話をしてくれた方がいたり、実際に就職活動で上京された地方の方が、時間のない中立ち寄ってくださった。こういったことから、関係性構築ができ始めていると感じており、このことは精神的状況が改善・安定につながるとともに、一人で問題を抱えることがなく、相談できるようになるのではないかと考える。</p>
--	--

活動	進捗状況	概要
1) 困窮状態にある方の経済的負担が軽減するための活動	1) ほぼ計画通り	・新型コロナ感染拡大で長期にわたり緊急事態宣言等が発令されたことにより、バイトを減らされたという方から毎月のように食料を受けとった後「助かった」という声を受け取っていることから、経済的負担が軽減されていると思われる。
2) 精神状態が改善・安定するための活動	2) ほぼ計画通り	・コロナで学校の実習予定が当初と変更を余儀なくされたという方が「毎月食料が届くのを楽しみしている」というメールをくださり「大変なこともあると思いますが、友達と一緒に頑張ろうと思います」というメールをくれたように、不安のなかでも頑張ろうとしている。
3) 関係性ができ、長期的に伴走サポートを受けることができるための活動	3) ほぼ計画通り	・関係性の構築は短期間でできるものではないと思っているが、5 か月が過ぎた時点で、いくつか相談が来ており、また毎月のように連絡をくださる方がいる。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述

5 か月間、毎月食料等とメッセージカードを送付することにより、何度も連絡をくれる方や、相談をしてくださる方が出てきていることから、関係性構築が少しずつではあるができていていると感じる。このことは、もともと自分の困難な状況を人に話すことは容易ではないことを考えると、きっかけを作り継続的関係を持つことで、少しずつではあるがそのハードルを下げるができることがわかった。

また、食料送付をすることで、対象者の方の出身の児童養護施設さんが卒園生の方と連絡をするきっかけを持てたと喜んでくださったことや、他団体とのつながりもでき、多くの方と連携できる場面が格段に増えている。このことは一人の方に多くの違う関係性を持つ方がかかわることとなり、結果として全体的サポートをより良い形でできると感じる。

V. インプット

		2021 年度		執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥1,943,066		¥1,943,066	43%
	管理的経費	¥4,775		¥4,775	8%
合計		¥1,947,841		¥1,947,841	42%

補足説明

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

[事業実施上顕在化したリスク]

- ・ 困難な状況に陥った時、どこに支援を求めればいいのか、どんな支援があるのか等についての情報が十分に届いていない。
- ・ 抱えている困難やネガティブな状況について人に話すことはもともとハードルが高いが、ということ。

[阻害要因]

- ・ 新型コロナの感染拡大で緊急事態宣言などの発令により、それまで支援先としてかかわっていたところや居場所として利用していたところが閉鎖されたり、時短となり、困難な状況下での情報が必要な方に必要な情報を受け取る機会がさらに減っている
- ・ 「人に頼ることを良しとしない」「人に迷惑をかけない方がいい」とする社会的・文化的な背景がもともとあるところ、新型コロナ感染拡大で、直接人と会うことが制限され他ことで、ますます話すことが難しくなっていたり、新型コロナの感染拡大で、もっと大変な人がいるのではないかと思い、ますます話しにくい状況となっている。

[対応策]

- ・ 必要な情報が必要な方に届くようなシステム作りを、ある程度強制力のあるものにするため行政に求める。
- ・ 誰にでも人の助けが必要な時があること、人に頼ることは悪いことではなく、むしろ自立のために必要なことであること等を伝え、お互い様ということが当たり前となり、相談しやすくなる環境整備、構築。

Ⅶ. その他

自由記述

Ⅷ. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

Ⅸ. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	定款の定める通りに開催されている。	令和3年度第1回社員総会を令和3年6月13日(日)14時00分より実施 令和3年度第1回理事会を2021年4月2日(金)13時00分より実施 令和3年度第2回理事会を2021年4月26日(月)17時00分より実施 令和3年度第3回理事会を2021年6月28日(月)12時00分より実施 令和3年度第4回理事会を2021年7月25日(日)18時00分より実施
2. 内部通報制度は整備されていますか。	理事会で検討する予定	コンプライアンスに関する JANPIA の通報窓口を周知する